



東日本大震災から10年②

2011年3月11日、私たちは東日本大震災を経験し、仙台支社の多くの線区は被災しました。当時、仲間や家族、親族の安否を心配する中でもお客さまの避難誘導を優先し、営業列車での死者はいませんでした。しかし、当時、多くの組合員が未来を想像できないほどの現実を目の当たりにしていました。当時の仙台地本は仙台支部を中心に緊急の対策本部を設置し、仙台地本事務所で組合員の安否の確認や、地域の被災状況を把握し、会社との情報共有を行いながら震災発生直後の体制を築きました。



JR東労組としての東日本大震災の教訓は「抵抗とヒューマニズム」。

死亡者ゼロを実現できたのも普段の組合活動におけるそうした精神のたたかひの積み重ねが根底にあります。

震災初日から体制を築き、被災地の最先頭として復興を目指してたたかう日々のスタートを切りました。